



勢いよくロケットを発射！



胆沢区

はるか彼方へ思いを乗せて

日本宇宙少年団水沢Z分団ロケット大会

日本宇宙少年団水沢Z分団ロケット大会が7月15日、同分団（佐々木孝分団長）の第3回定例活動の一環として、胆沢野球場で開催されました。

午後に始まった大会には、3歳から中学2年生までの子どもと保護者の約60人が参加。飛ばしたペットボトルロケットは、同日午前みんなでデザインを工夫しながら製作したものです。空気を入れて発射の合図で空めがけ放ったロケットは、野球場から飛び出すものもあり、参加者らが大きな歓声を上げていました。

江刺区

次世代につなぐ蛍の舞う里

梁川でほたる観察研修会

獅子・ほたるの舞う里梁川地域協議会（小澤祐耕会長）が主催する「第4回ほたる観察研修会」が7月14日、栗生沢集落センター周辺の水田で行われ、市民ら約180人が黄緑色の光の乱舞を楽しみました。

同会が蛍の生息環境を保護しようと農薬や草焼きを控えた結果が実り、この日も午後8時頃に水田上をヘイケボタルが乱舞しました。祖父母や兄と参加した伊藤伶奈ちゃん（5）は「いっぱい飛んでいるのは初めて見た。光っていて面白かった」と満足していました。

幻想的な蛍の光に歓声を上げる参加者たち



前沢区

前沢牛の焼き肉をお気軽に

三日町にまえさわ牛横丁がオープン

前沢牛横丁実行委員会（馬場耕哉実行委員長）が主催する「まえさわ牛横丁」が7月6日、前沢区字三日町のイベント広場で始まりました。

地域のにぎわい創出として、2年目を迎える同イベント。20日は、前沢牛の焼肉などを楽しむ家族連れなど約200人が来場しました。「週替わりメニューがお勧め」と語る鈴木法子さん（28）は、同僚とこの日3度目の乾杯をしていました。同横丁は、9月14日までの毎週金曜日（8月17日除く）に開催されます。



まえさわ牛横丁を満喫する来場者たち



夏祭りのように2000人が集まった会場

水沢区

真夏の出会いは街中で熱く

奥州サマ婚 ～お祭気分で出会う夏～

「奥州サマ婚～お祭気分で出会う夏～」が7月29日、水沢区の市街地特設会場で開催され、市内外から200人が参加し、夏の夕べを楽しみました。

奥州市を中心に広い地域での交流と出会いを創出しようと、水沢青年会議所（岩淵清和理事長）が主催したこのイベント。ステージではフラダンス披露や弾き語りも行われ、会場の雰囲気盛り上げました。参加者らは「参加者が多く年齢制限がなくうれしい。勇気を出して来た分、楽しめます」と語っていました。

衣川区

衣川の魅力を市内外に発信

まちなか奥州散歩路 衣川ウィーク



勇壮な「八幡舞」を披露した大森神楽保存会

まちなか奥州散歩路・衣川ウィークが7月19日から25日まで、水沢区の市まちなか交流館（高橋睦夫館長）を会場に開催されました。

（株）まちづくり奥州（小澤正一社長）と同館が共催したこのイベントは、市内各自治区の魅力を発信しようと企画されたもので、衣川区を皮切りに年度内に全ての自治区を紹介する予定です。

21日には大森神楽や歴史講談、22日には同区出身の落語家で真打の桂枝太郎さんの寄席も開催。このほか、期間中には、増沢塗りや星空日本一に輝いた星空写真のパネル展示、衣川で生産された物産の即売なども行われ、会場を訪れた多くの人に、衣川の誇れる魅力を発信していました。

胆沢区

ダムの魅力をもっと身近に

石淵ダム・胆沢ダムふれあい祭り

平成24年度森と湖に親しむ旬間「石淵ダム・胆沢ダムふれあい祭り」が7月28日、両ダム周辺を会場に開催されました。

この日は、胆沢ダムの提体を歩く天端ウオークなどさまざまなイベントが催され、県内外から約300人が参加しました。このうち、石淵ダム貯水池巡視体験では、25年に胆沢ダムに沈む予定の石淵ダムをボートで周遊。緑に囲まれた大自然をバックに、参加者は満面の笑みで楽しんでいました。

晴天の下、水しぶきを上げるボートで湖面巡視体験をする参加者



歓声の上がつた流し卵めん大会

江刺区

歓声と活気あふれる商店街

第12回えさし蔵まち市

第12回えさし蔵まち市が7月7日と8日、江刺区の蔵町モールを会場に行われました。

初日はあいにくの小雨でしたが、お菓子や採れたて野菜を販売する約40の店が立ち並び、親子連れでにぎわいました。恒例イベント「流し卵めん大会」には、開始前から長蛇の列が。めんが勢いよく流されると、大人も子どもも一心にすくって頬張り、瞬く間に200食が無くなりました。屋台村やマグロ解体ショーなども繰り広げられ、まちに活気があふれた週末でした。